

## 新型コロナウイルス感染症にかかる宿泊療養施設の利用開始について 説明会議事概要

日時：令和2年4月26日 午後2時～午後3時

場所：バーディホテル千葉

(参加者)

市民：16名

亀田総合病院：亀田院長、大澤医師（感染症科）

千葉市：山元局長 外4名

### (1) 千葉市の新型コロナウイルス感染症患者の発生状況等について(千葉市説明)

### (2) 新型コロナウイルス感染症の感染対策について(大澤医師説明)

○新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」とする。）の症状について、感染者の8割は軽症者であり、残りの2割が入院を必要とし、入院患者の4人に1人程度の割合で集中治療室での治療が必要となると初期には報告されている。実際は、無症状患者や軽症者がかなりの割合で占めるのではないかと推定されている。

○新型コロナのウイルス量が最も多いのは、感染後初期の症状が増悪する前である。その間に、外出などをすることで飛沫や接触による感染が拡大している。空気感染はしない。

○現状は、重症度に関わらず、新型コロナの患者は原則として全員入院する法律になっているため、軽症で入院が必要ないと判断されてもPCR検査が陽性であれば、入院が継続となっている。そのため、多くの患者が入院する病床がなく、自宅待機をしている。また、新型コロナの感染者数の多い都内では、重症患者の受け入れをしていることで、他の重篤な病気（心筋梗塞など）で入院が必要であっても受け入れができない状況が起きつつある。

○自宅待機をしている患者は、いつ症状が悪化するかわからず、また、家族に感染させてしまうかもしれない不安や、感染に対する後ろめたさを感じていることが多い。

○現在、新型コロナは普通に生活している人がかかる可能性のある病気である。

○そのような中、自宅待機中の患者を受け入れる病床を確保するためにも、軽症者で入院している感染者が、安心して療養、回復し社会復帰するまでの間過ごす場所が必要。

○ホテル療養にあたっては、ゾーニングをきちんと行い、レッドゾーンへ入るスタッフはきちんと防護対策をする。感染のリスクが高いのは、一見感染しているかどうかから

ない人に対して、防護策を施さずに対応することであり、ホテル療養に関しては感染者とわかっている人に対して適切に対応するため、従業員や市の職員に感染するリスクはゼロに近い。

### (3)主な質疑応答

#### [感染について]

Q 空気感染はないと説明があったが、本当に大丈夫なのか。

A 基本的に空気感染はない。狭い客室内においてマスクなしで対面会話をすることで、飛沫が落ちきる前に吸い込んでしまい感染することは考えられるが、ホテル従業員や市職員従事者が療養者と直接対面して対応することはないために心配はならない（亀田総合病院）

#### [運営について]

Q ホテルの従業員が千葉駅等を利用することで、ウイルスが外に出る危険性はないのか。

A ホテルの従業員はレッドゾーンでの従事はないため、その心配はない。（亀田総合病院）  
※なお、市職員従事者等レッドゾーンへ入る人もいるが、手指衛生や防護服着用等の十分な対策をするため、ウイルスがホテル外へ出る心配はない。

Q バーディホテル千葉で宿泊療養するのは、千葉市民のみなのか。

A 基本は千葉市民だが、市民でなくても受け入れることで病床が空くのであれば受け入れることもある。療養中の急変等については、千葉大学病院や青葉病院に後方支援してもらう予定である。（千葉市）

Q 宿泊療養の終了はいつ頃か。

A 3か月程度と考えて運営を開始することとしているが、感染者数の状況により終了時期は決定する。（千葉市）

#### [入退所について]

Q 退所後はいつ頃社会復帰するのか。

A 退所時に多少の症状が残ることもあるが、体内の新型コロナウイルス量のピークは発症時と言われており、症状が軽快したときにはウイルス量は激減している。退所の前に、PCR検査で二度の陰性を確認するため、社会復帰しても問題ない。（亀田総合病院）

Q 入居者が退所の際は、公共交通機関を利用するのか。

A 退所時は、入所者自身で帰宅してもらうため、公共交通機関を利用することもあると思う。本人の荷物等は状況に応じて消毒を行う。（千葉市）

Q 毎日患者が出入りすることになると思うが、防護服を着た患者が出入りするのか。外から見える範囲でそのような人が通るのか。

A 患者は防護服を着用していない。また、患者の出入りは正面入口ではなく非常口を使用する。(千葉市)

Q 事業をしていると、近隣ホテルに新型コロナの患者がいることで、お客様も不安になる。風評被害や問い合わせに、店側はどのように対応すべきか。

A 経済的なことに関する事業者向けの相談は、中央 CC で臨時の相談窓口（予約制）があるので活用してほしい。ホテル療養に関する来客への周知については相談してほしい。(千葉市)

#### [質疑応答結び](亀田院長よりお話)

亀田総合病院(鴨川市)は、武漢からの政府チャーター第一便で帰国され、勝浦三日月ホテルで健康観察をおこなった約 170 名の方々の中から発症された新型コロナウイルス感染患者様の受け入れに始まり、3 か月以上に渡り、常に病院内には重症、中等症の患者様が入院されています。

病院周囲には多くの病院関係者の住宅や、大規模なこども園、介護施設等が点在し、院内には様々な商業施設もありますが、地域における感染者は全く発生しておりません。

バーディーホテル千葉においても、今までの経験やノウハウを生かして質の高い感染管理を行ってまいります。まずグリーンゾーンとレッドゾーンの明確なゾーニングを行い、療養者が感染区域内から出ることは決してないシステムを作りました。

一方療養期間が長期に渡ることを想定し、自室以外である程度活動ができるスペースを確保し、ストレス軽減につながるよう配慮しています。

今回の療養者は、感染回復期であり、感染性が非常に低いと考えられる病院からの転院患者様です。国際的にはこの段階で自宅に退院させている国も多く認められますが、日本では現段階で直接退院させることが困難なため、今回のようなホテル利用となりました。

地域の方々には風評被害が心配であるというお話を伺いますが、本当に入院が必要な患者様に病院の病床を確保するためにご理解頂きたいと思います。

実際、鴨川では 5 千人の医療従事者が厳しい環境下で働いていますが、先ほどお話した通り、職員、および地域の方々一人の感染者も発生していません。

出来る限りの感染対策を行いつつ、ホテルでの宿泊療養を実施してまいりますので何卒ご支援宜しく願い申し上げます。

以上をもって説明会を終了した。